

# 町内の保育施設について

## 認定こども園

問い合わせ先 子育て支援課 TEL 33-2122

### ◆入園の条件となる「保育の必要性」の事由

P25保育の必要性って何？ 参照

### ◆入園年齢

生後6か月から5歳児までの乳幼児

### ◆保育時間

【1号認定】3歳～5歳児

月曜日～金曜日 8:30～13:30

※幼稚園教育を希望する幼児は長期休業（夏・冬・春休みがあります）

【2・3号認定】0歳～5歳児までのうち保育を必要とする乳幼児）

月曜日～土曜日 8:30～16:30（保育短時間）

※仕事のためこの時間に送迎することが困難な場合は、7:30から18:30まで利用可能（保育標準時間）。ただし、土曜日は家族全員が仕事のため保育ができない場合のみ。（事前要相談）

### ◆保育料

0歳～2歳児：市町村民税の課税額によって決まります。

最高額36,000円（非課税世帯の方は無償）

3歳～5歳児：幼児教育無償化のため0円となります。

※蔵王町幼児教育・保育に係る給食費無償化事業によりおやつ代を除く給食費が無償です。その他、教材費等は別途必要です。

### ◆給食

月曜日～金曜日：完全給食

※アレルギーのお子さんについては、医師の指示書のもと、対応できる限り除去食を提供します。アレルギー以外の除去食については対応できません。

| 名 称         | 住 所          | 電話番号(0224) | 定 員  |
|-------------|--------------|------------|------|
| 蔵王町おそらこども園  | 大字塩沢字上野29-23 | 33-3579    | 135名 |
| 蔵王町おひさまこども園 | 宮字明神前55      | 22-8380    | 90名  |

### 認可外保育所の紹介

ベビーハウスたんぼぼ保育園

住所：宮城県刈田郡蔵王町宮字根方71-1

電話：0224-32-2720

里山おうちえん

住所：宮城県刈田郡蔵王町宮字原前66

電話：090-6251-7752

# 幼稚園

問い合わせ先 教育総務課 TEL 33-3008

## ◆対象年齢

3・4・5歳児

## ◆保育時間

月曜日～金曜日 8:30～13:00

## ◆保育料

無料

## ◆給食代

無料



## 【預かり保育の実施について】

### ◆実施日

月曜日～土曜日・長期休業日(夏休み・冬休み・春休み)

※日曜日、祝日、年末年始を除く

### ◆預かり保育時間

7:30～8:30、13:00～18:30

※土曜日・長期休業日は7:30から18:30まで

### ◆預かり保育料

1時間につき月額1,800円

ただし、保育の必要性がある方は、「保育の必要性の認定」を受けることで利用料が無償化の対象となります。

※「保育の必要性の認定」・・・就労等の要件(認可保育施設の利用と同等の要件)があります。(25ページ参照)

### ◆給食代

無料(土曜日は弁当持参)

### ◆おやつ代

月額1,000円

### ◆町内の幼稚園

| 名 称        | 住 所                 | 電話番号(0224) | 定 員  |
|------------|---------------------|------------|------|
| 蔵王町立遠刈田幼稚園 | 遠刈田温泉<br>字遠刈田北山21-1 | 34-4257    | 140名 |

### 【欠員募集について】

定員に空きがある場合は、随時募集を受け付けています。

現状では、幼稚園について定員に空きがあります。

※最新の定員の空き状況や応募方法等の詳細については、

教育委員会教育総務課(TEL：0224-33-3008)または各幼稚園にお問い合わせください。



子育てミニ情報

## お母さんのイライラ解消法

私たち人間には喜怒哀楽、さまざまな感情があり、イラつくのもその一つ。どんな感情も間違っているものなどありません。イライラしてもいいのです。イラつくといった怒りの感情は、人間にとって危険から守るために必要なものだからです。

大切なのは、自分のイライラは、自分で感情コントロールできるということ。では、それにはどうすればいいのか、考えていきましょう。



### 深く呼吸をする

イラついたり怒りの感情がわいたりしたときは、息を吐くことがとても大切。鼻から息をゆっくり吸い、吐くときは口からゆっくりと細く長く吐くと、イラつきや怒りがおさまります。



### しゃべる速度を遅くする

イライラしたときは、感情のままにワーツとしゃべってしまいがち。そのときには、あえてゆっくり言葉を発してみてください。『何やってるの!』ではなく『な～に～を～し～て～いるのかな～?』というように。言動をゆっくりすることで心臓のドキドキも落ち着き、少し穏やかに子どもに接することができるよう。